

※一般質問の内容は、議員自身が6月定例会議事録に基づき記述しています。



つじむら たけろ  
**辻村 岳瑠**

(育成)

**増加する介護保険料の負担について**

**問** 他市と比べた時の、当市の介護保険料をどう考えているか。

**部長** 近隣市、類似する市と比較し高額である。これは令和2年度までの介護サービス利用状況などを基に、令和3年度から令和5年度までに必要な介護サービス料の見込みから算出したものである。他市と比較して介護保険料基準額が高額ということは認識している。

**問** 富士宮市地域福祉計画によると、要介護1の認定者が増加している。介護保険料基準額の高額の要因と考えてよろしいのか。

**部長** 要介護1認定者は他市と比較しても高い。しかし、要介護2以上の認定者数の割合に目を転じると、当市は他市と比較して低い。要介護1の認定者数の増加が当市の介護保険料基

準額増額の要因とは必ずしも言えるものではない。認定を受け、そのご家族が必要とされている介護保険サービスをしっかりと利用できているということが介護保険サービス総費用の増額に結びつき、介護保険基準額の増額につながっているものと考えている。

**介護保険事業の根幹は介護人材である。市の介護人材確保の施策について**

**問** 市の介護人材確保の新たな施策についてどうお考えか。

**部長** 令和元年度から介護保険事業者連絡協議会が立ち上げた、介護人材委員会に出席させていただいている。介護現場のニーズなど把握し、新たな施策の必要性について検討していきたいと考えている。

**意見** 昨年の介護報酬改定のポイントの一つに、介護人材確保があった。他市では介護人材の流出を防ぐため、予算額を3倍近く増額している。介護人材委員会への呼び水となる市独自の新しい施策に期待する。



もちづき よしまさ  
**望月 芳将**

(無会派)

**保育園で温かな米飯を食べさせられないか**

**問** 保育園で3歳以上は主食を持参しているが、冬場に温かな米飯を食べさせたい。

**部長** 持参する弁当を保温することは、機材のスペースの面、管理の衛生面から難しい。

**問** 主食持参は保育サービスの最低基準の要件で、時代も変わり主食提供も考えてはどうか。

**部長** 検討の余地がないかという点、検討の余地はある。しかし調理スペースや機材の問題もあるので当面は現状で考えている。

**要望** 時間がかかることは理解する。できれば主食提供も公的支援でお願いしたい。

**不登校の現状認識と対応はどうか**

**問** 令和4年2月時点で、不登校者251人。そのうち適応指導教室に61人、民間の施設に5人通っている。この現状を踏まえ、対処方針はど

うか。

**部長** 青少年相談センターでは、市内全小中学校を訪問し、各校の不登校生徒について情報共有している。また、不登校対策委員は、令和4年度1名増員して、2名で不登校生徒や家族への対応を強化している。不登校の原因は多岐にわたり、個々の特性に合った場所に対応することが必要と考える。

**問** 民間施設を活用して居場所を作ってはどうか。

**部長** 現在富士市の民間施設を紹介している。今後も、現在ある民間施設を活用していきたいと考えている。

**問** 福祉部門との連携はどのようになっているか。

**教育長** 年度当初に顔合わせし、それから役割の確認と課題の整理、相談の必要なことは他部署にかけていく。保健福祉部に相談を持ち掛けることが一番多い。